

令和6年度 カヤバ健診の改良についてお知らせ

2月から予約開始した「令和6年度カヤバ健診」について、今回の変更点（改良した点）をお知らせします。

1. 令和6年度の変更点

①実施されなくなった健診項目の一部復活・・・

- ・胸部レントゲンが1方向に減ったものを2方向へ戻す。
（もともと1方向だった医療機関についてはそのままです）。
- ・眼圧など。
- ・胃カメラ健診が可能な医療機関を増やしました。

※昨年度「生活習慣病健診」を元に、健診科目の統一を行ないましたが、いくつかの科目で簡素化されるなど不具合が生じました。

そこで令和6年は「人間ドック」を元に健診科目を見直し致しました。
（これにより、肺機能検査、臓機能、B型肝炎抗体、C型肝炎抗体なども戻ってます）



②健診機関の見直し・・・

- ・選択肢から外れた病院の一部を対象に追加しました。

これら以外に、問診票の一元化（2つ作成する煩わしさがある）について、現在改善中です。

尚、令和5年度に変更する際、十分なお説明ができていなかったため、遅ればせながら、以下ご説明します。

2. 令和5年度変更の「目的」は、「健康経営」を充実させるため・・・でした。

- ①健診項目と費用を統一し、自己負担額の地域格差をなくす。
健診項目を「法定検診+がん健診など、データヘルス実施の上で必要な項目」に絞る。
- ②健診結果の一元管理と経年管理ができる体制づくりを実施する。
 - ・よりよい医療をうけるための下地作り→受診者がいつでも、どこでも健診結果を閲覧できる体制を作る（けんしんナビ、マイナポータル等）。
 - ・各社が健診結果データを分析し、健康経営に活かせるようにするため、健診結果を「紙」から「データ」で入手する（データ化のアウトソーシング）。



これらを外注業者「（一）日本健康文化振興会（JHCP）」に委託し、実現致しました。

3. 令和5年度の評価・反省。

また、皆様からいただいたお声をに対し、反省点をまとめ、上記の改善を行いました。

☆よくなった点

- ・受診者の「利便性の向上」・・・医療機関の選択肢が増えたことで自宅近くの病院で健診できるようになった（73社→1千社超に選択肢が拡大）。
- ・各社の担当者の負担軽減・・・健診結果を紙からデータで受け取れるようになったので、工数低減とペーパーレスが実現した。
また、JHCPが未受診フォローしてくれるようになり、そちらでも工数低減できた・・・等

★悪くなった点

- ・健診科目の減少、レベルダウン（例；胃カメラが無くなった。レントゲンが1方向のみに減った・・・等）
- ・これまで受診できた医療機関が選択肢から外れた。
- ・問診票を2つ記載するのが煩わしい。
- ・この変更について説明不足。・・・等

今後も皆様の健康管理のため、よりよい健診ができるよう改善して参りますので、ご理解、ご協力の程、宜しくお願い致します。

以上